United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

San'in Kaigan UNESCO Global Geopark

火山活動と人々の暮らし

神鍋高原（かんなべ）コース

山陰海岸ジオパーク散策モデルコース

初版：2011.10.28／最終更新日：2018.3.31

神鍋高原には、西気火山、大机火山、神鍋火山、太田火山、ブリ火山、清滝火山の6つの火山が見つかっています。これらの火山は、今からおよそ70万年前から2万年前にかけて噴火していたと考えられます。特に、最も最近（2万5千年前）活動していた神鍋火山は、その山頂に美しい噴火口が残っています。稲葉川に沿って流れ下った神鍋火山の溶岩は数々の滝や淵など、現在の美しい風景を作り出しています。

美しい自然を守るため、石や植物は観察するだけにしましょう。
危険な場所や立ち入り禁止の場所には入らないようにしてください。
持って帰るのは楽しい思い出と写真、そして地元のおみやげ！！

清滝溶岩流まつりでの餅まき

イベントいっぱい神鍋高原！
詳しくは日高神鍋観光協会（道の駅神鍋高原内）まで
TEL.0796-45-0800

N

500m

大岡山（662m）

⑤火山の断面スコリア層

提供：ALEX JAPAN

神鍋火山から噴出した多孔質の火山岩“スコリア”は黒ボク土になり、高原野菜の栽培に適した土地になりました。スコリアからなる大地に浸透した雨水は地下水となって下流で湧出し、そこではマスの養殖が行われています。

③神鍋山スコリア丘&噴火口

オススメ

黒ボク土の畑

お弁当食べるならココ！

④神鍋山からの眺望

②岩倉古墳

神鍋山（469m）

⑥風穴（ふうけつ）

倭滝

クイズその1

神鍋山の斜面は何度くらいかな？
（答えは裏面へ）

クイズその2

石組みの中に元々そこにあった溶岩が混じっています。探してみよう！！
※ヒント：他の石より大きい
（答えは裏面へ）

清滝トンネル

六体地蔵

黒ボク土の畑

①但馬ドーム

ブリ山

386m

②長崎石組み通り

ガイドさんいます！

稲葉川

日高神鍋観光協会

黒ボク土の畑

①道の駅 神鍋高原

六体地蔵

清滝地区コミュニティセンター

③山神社と奇岩

八反滝

黒ボク土とキャベツ畑

備前山（780m）

ビューストリート

⑦まぼ渓谷エリア

チェーン着脱場

⑥二段滝・溶岩こぶエリア

⑤神鍋溶岩流清滝遊歩道

オススメ

滝は下から見るのがベスト！下流からゆっくり登っていきましょう。

地下水を利用したマスの養殖場

④弁財天

十戸滝（じゅうこ）

稲葉川

十戸湧水池と養鱒場群

神鍋溶岩流コース

スタート　＊時間は徒歩

①但馬ドーム
30分 ↓ 約1.8km
②長崎石組み通り
15分 ↓ 約700m
③山神社と奇岩
30分 ↓ 約1.7km
④弁財天
5分 ↓ 約400m
⑤神鍋溶岩流清滝遊歩道
25分 ↓ 約1.3km
⑥二段滝・溶岩こぶエリア
10分 ↓ 約600m
⑦まぼ渓谷エリア
25分 ↓ 約1.3km
①但馬ドーム

総移動時間約2時間20分
全行程約8km

溶岩流ショートコース

スタート　＊時間は徒歩

チェーン着脱場
5分 ↓ 約400m
⑤神鍋溶岩流清滝遊歩道
20分 ↓ 約1km
②長崎石組み通り
15分 ↓ 約700m
③山神社と奇岩
30分 ↓ 約1.7km
④弁財天
5分 ↓ 約400m
チェーン着脱場

総移動時間約1時間15分
全行程約4.5km

神鍋火山コース

スタート　＊時間は徒歩

①道の駅神鍋高原
5分 ↓ 約300m
②岩倉古墳
20分 ↓ 約1.1km
③神鍋山スコリア丘&噴火口
5分 ↓ 約300m
④神鍋山からの眺望
20分 ↓ 約800m
⑤火山の断面スコリア層
5分 ↓ 約300m
⑥風穴
15分 ↓ 約800m
①道の駅神鍋高原

総移動時間約1時間10分
全行程約3.5km

神鍋火山ショートコース

スタート　＊時間は徒歩

①道の駅神鍋高原
5分 ↓ 約300m
②岩倉古墳
20分 ↓ 約1.1km
③神鍋山スコリア丘&噴火口
5分 ↓ 約300m
④神鍋山からの眺望
20分 ↓ 約800m
⑤火山の断面スコリア層
10分 ↓ 約600m
①道の駅神鍋高原

総移動時間約1時間
全行程約3.5km

凡例

トイレ
駐車場
食　事
説明看板
道　順
足元注意
交通安全確認
畑・牧草地
田
神鍋火山コース
神鍋火山ショートコース
神鍋溶岩流コース
神鍋溶岩流ショートコース
神鍋溶岩流ロングコース

お問い合わせ：山陰海岸ジオパーク推進協議会　TEL.0796-26-3783　FAX.0796-26-3785　HPアドレス　http://sanin-geo.jp/

みどころいっぱい神鍋高原

●神鍋溶岩流コース

①但馬ドーム（スタート地点）

スポーツの他に、様々なイベントが開催されます。屋根と壁が一体となっており、100度開閉します。面積は、甲子園球場とほぼ同じ。豊岡市日高町出身の冒険家・植村直己さんが遭難したマッキンリーの峰をイメージした建物です。
（問）0796-45-1900

②長崎石組み通り

国道482号線・栃本の清滝小学校下から山宮地区に抜ける道路の両側には、主にブリ山から噴出した玄武岩溶岩やスコリアを組んで作られた石垣が続いています。流れてきた自然の溶岩そのものを石垣にしている箇所が、ところどころにあります。探してみましょう。

③山神社と流紋岩の奇岩

山宮地区にある山神社には、400年以上の杉やケヤキの社そうがあり、大山祇神が祀られています。神社のそばを流れる川床には北但層群の砂岩があり、南側の崖はブリ溶岩、北側の崖には北但層群の流紋岩が顔を出しています。

④弁財天

石井発電所の放水路の上流には、神鍋地区からの湧水が出ているところに弁財天が 祀ってあります。弁財天のある対岸には大きな風穴も見えます。

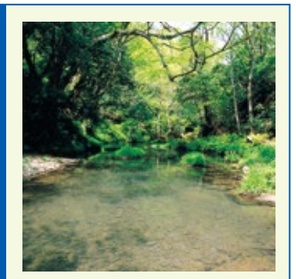
⑤神鍋（かんなべ）溶岩流清滝（きよたき）遊歩道

神鍋山から噴出した溶岩は、稲葉川（いなんばがわ）に沿って約15km流れ、下流の円山川に達しています。この溶岩の流れ（溶岩流）と川の浸食によりすばらしい風景がつくりだされています。特に神鍋山に近い俵滝から十戸滝までの約5kmの間には多くの滝と淵が集中する絶好の散策ルート。畳滝、棚田小滝、泥淵など様々な名勝があります。

⑥二段滝・溶岩こぶエリア

二段滝は落差4mと5mの滝で構成されています。周囲にはフジ、カエデ、竹林が覆い、神鍋溶岩流の中でも美しい滝の一つです。溶岩こぶは長さ34m、幅8mにわたって玄武岩が馬の背中のように盛り上がり、中は空洞になっています。1967年に兵庫県の天然記念物に指定されています。

⑦まぼ渓谷エリア



かつて神鍋にはいくつかの金鉱山がありました。「まぼ」は「間歩（まぶ、鉱道のこと）」がなまったものです。まぼ渓谷エリアの最上流部には落差23mの八反滝があります。この滝もまた玄武岩溶岩でできています。

●神鍋火山コース

①道の駅 神鍋高原

レストランや温泉もある、神鍋観光の拠点です。お食事処“かんなべ”、特産品ショップ、観光案内所、神鍋温泉「ゆとろぎ」が一体化した観光交流拠点施設です。
（問）0796-45-1331

②岩倉古墳

古墳時代のものと考えられ、周辺に数基認められます。ここからは刀などが出土しています。今でも中の様子を観察することができ、古墳の内部構造を知ることができます。神鍋には縄文時代の神鍋遺跡もあり、黒ボク土の上に古くから人々の生活があったことを示しています。

③神鍋火山噴火口

標高469.5m。近畿で最も新しい火山です。約2万5千年に噴火したと考えられており、山頂には周囲750mの噴火口が残っています。スコリアからなる山体の斜面は安息角となっています。

④神鍋山からの眺望（北方～東方）

北側と東側斜面はスキー場として利用されています。東に但馬ドームとブリ山等、他の単成火山が見えます。北にはスキー場の下に黒ボク土の野菜畑が広がります。ここでは、冬はスキー、夏はパラグライダーやグラススキーが楽しめます。

⑤火山の断面とスコリア層

神鍋山はスコリア（溶岩のしぶきでできた黒い岩石）に溶岩が挟まれてできたスコリア丘です。スコリアの大きいものは盆栽用の石材に持ち出され、垂直の崖になりました。現在は兵庫県の自然公園に指定され、持ち出し禁止となっています。このスコリアの露頭をみると、層になっている様子が観察でき、何度も噴火があったことがわかります。

⑥風穴（ふうけつ）

噴火活動によってできた溶岩洞窟を「風穴」といいます。火山の噴火により流れ出た溶岩が徐々に冷えて固まるとき、表面が固まった溶岩の中から、まだ固まりきらない溶岩が流れ出てできた空洞や、溶岩の中の高圧ガスが噴き出したあととされています。内部は年中約8℃と一定しているので、地元の人が天然の大型冷蔵庫として利用していました。

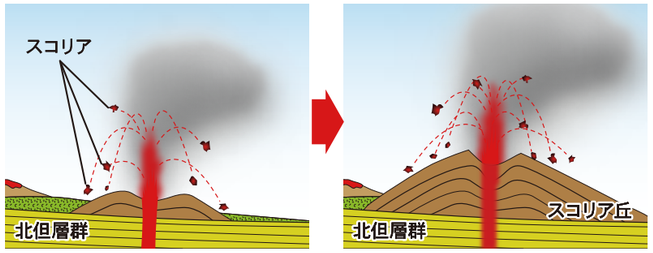
クイズの答え

①自発的に崩れることなく安定を保つ斜面の角度「安息角」の30度前後

②石積みの下にある地面から突き出た大きな石が溶岩

ジオコラム①

スコリアが降り積もってできた神鍋山



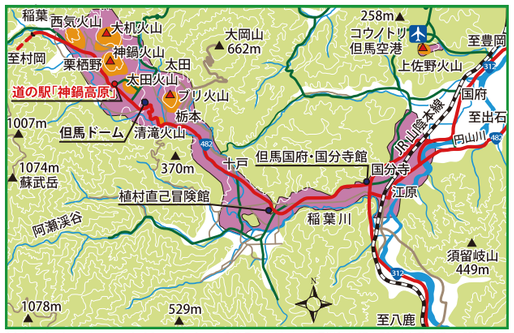
噴火の際に飛び散ったマグマが冷えて固まった“スコリア”が、火口の周りに降り積もります。

火山活動が継続し、スコリアが積み重なって、スコリア丘が形成されました。

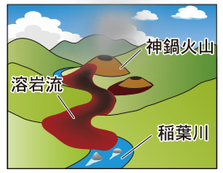
神鍋高原の一帯には、赤褐色でごつごつした穴の多い岩石がよく見られます。これは“スコリア”と呼ばれ、神鍋火山群の噴火の際に飛び散ったマグマが冷えて固まったものです。穴が多いのは、マグマが発泡してガスが抜けたためです。火口から飛び出したスコリアは周りに降り積もり、神鍋山や大机山のような火山（スコリア丘）をつくりました。

ジオコラム②

稲葉川（いなんばがわ）に沿って流れた溶岩流



神鍋火山周辺の地質の分布　兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 ジオ環境研究部門作成【地質図は兵庫県土木地質図（兵庫県,1996）をもとに編集】



：火山
：形の残っている火山
：火山から噴出した溶岩流の分布
：北但層群（日本海ができる時の地層）
新しい時代の火山と溶岩

神鍋高原周辺では、主に日本海ができるときにたまった湖や川・海でできた地層（北但層群）と、その上に重なる新しい時代の火山（神鍋火山など）やそこから流れ出た溶岩が分布しています。神鍋火山群はおよそ70万年前から2万年前に噴火していたと考えられています。最も新しい火山は神鍋火山で、山頂には火口が残っています。

ジオコラム③

スコリアの分布と土地利用

黒ボク土を利用したキャベツ畑

神鍋火山の周辺には、スコリア層をおおって黒ボク土が分布しています。黒ボク土は水はけがよく野菜の栽培に適しており、高原野菜が作られています。スコリア層を通って地下にしみこんだ水は下流で湧き出し、十戸周辺では豊富な湧水を利用した鱒の養殖やワサビの栽培が行われています。

制作：山陰海岸ジオパーク推進協議会、兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 ジオ環境研究部門